



GROWTH TOKYO

2026年6月19日

各 位

会 社 名 株式会社環境フレンドリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭
(コード：3777、東証グロース)
問合せ先 経営企画室 室長 松澤 増満
(TEL. 03-6261-0081)

次世代 AI インフラ事業の推進に向けた 66kV 特別高圧変電所建設工事契約締結及び固定資産の取得に関する お知らせ

当社は、2026年6月19日開催の取締役会において、当社連結子会社である AI Tech Tomakomai 株式会社（以下「ATT」といいます。）が推進する苫小牧 AI データセンター事業に関し、66kV 特別高圧変電所建設工事契約の締結及び関連固定資産の取得を決議いたしましたので、お知らせいたします。

本件は、2026年5月29日付で公表した AI Tech Tomakomai 株式会社の子会社化及び土地取得に続く事業進捗であり、AI データセンター運営に必要となる大容量電力供給基盤を整備するものです。また、本日付で公表した「新株式及び新株予約権の発行に係る資金使途の変更に関するお知らせ」において開示した AI データセンター開発事業資金の具体的な充当対象として実施するものであり、当社グループが推進する次世代 AI インフラ事業における中核インフラ整備であり、事業実現に向けた重要な進捗と位置付けております。

当社グループの AI データセンター事業が構想・準備段階から本格的なインフラ整備段階へ移行する重要なマイルストーンであり、次世代 AI インフラ事業の実現に向けた具体的な前進であると認識しております。

記

1. 本件の背景および目的

当社は、2026年5月29日付「次世代 AI インフラ事業への参画を目的とした AI Tech Tomakomai 株式会社の株式取得（子会社化）及び固定資産の取得に関するお知らせ」にて公表したとおり、ATT を子会社化するとともに、北海道苫小牧市において AI データセンター事業への参画を決定いたしました。

近年、生成 AI 及び大規模言語モデル（LLM）の普及に伴い、AI 向け計算需要及びデータセンター需要は世界的に拡大しております。当社グループは、再生可能エネルギー事業、蓄電池事業及び電力インフラ事業で培った知見を活用し、AI インフラ事業を中長期的な成長領域として位置付けております。

苫小牧 AI データセンター事業においては、大規模な AI 計算基盤の運営に必要となる安定的かつ大容量の電力供給体制の構築が重要な要素となります。

本件は、同事業に必要となる 66kV 特別高圧変電所を整備することにより、大容量電力供給基盤の構築を進めるものであり、当社グループの AI データセンター事業が構想・準備段階から本格的なインフラ整備段階へ移行する重要なマイルストーンと位置付けております。

2. 本件事業の概要

ATT は、北海道苫小牧市字柏原 32 番 17 において、AI ワークロード向けの次世代 AI データセンター（苫小牧 AI データセンター）の開発及び運営を計画しております。

本事業では、AI 向け GPU コンピューティング需要に対応するため、段階的な設備整備を進めており、初期フェーズにおいては高圧受電設備による運営を予定しております。その後、更なる電力需要への対応及び事業拡張を見据え、66kV 特別高圧受電方式への移行を計画しております。

第 I 期は受電容量 10MW の規模で立ち上げ、2026 年 7 月に受電を開始し、2026 年 10 月の事業稼働開始を目指しております。今回整備する 66kV 特別高圧変電所の完成後は、第 I 期の高圧受電を特別高圧受電へ切り替えるとともに、段階的な設備の増設を進め、将来的に受電容量 50MW 規模への拡張を視野にいれております。

本事業は、ATT がデータセンターの電力受電設備・電気設備・コンテナ等のファシリティを保有・整備し、顧客に対して電力供給及び設置スペース（ホワイトスペース）を提供するコロケーション型（ホワイトスペース提供型）の事業モデルを基本としております。GPU サーバー等の IT 機器は入居する顧客が調達・設置するため、当社グループは GPU 等の技術的陳腐化リスクを直接負うことなく、電力供給及びスペース賃貸に係る継続的な収益の獲得を見込んでおります。

今回取得する 66kV 特別高圧変電所設備は、主変圧器、GIS（ガス絶縁開閉装置）、保護制御設備、特別高圧ケーブルその他付帯設備により構成される電力インフラであり、AI データセンター運営に必要な大容量電力を受電するための基幹設備となります。

本設備の整備により、当社グループは将来的な受電容量 50MW 規模の AI データセンター運営を見据えた電力供給基盤の構築を進めるとともに、今後の設備増設や事業拡張に対応可能なインフラ整備を推進してまいります。

なお、66kV 特別高圧受電設備は、大規模 AI データセンターの運営に必要となる基幹電力インフラであり、本件は将来的な受電容量 50MW 規模への拡張を見据えた第 II 期設備整備の一環として位置付けております。

ATT 社が計画している AI データセンター開発は、第 I 期工事（高圧 10MW）及び第 II 期工事（特別高圧 50MW）から構成されております。

第 I 期工事については、土地取得、電気関連工事、非常用発電機、コンテナ型データセンター、クーリングタワー等の整備を予定しておりますが、当初の契約（約 9.8 億円）は、ATT 社が当社の子会社となる前に、10MW 向け設備工事として ATT 社において締結したものであります。

その後、当社による ATT 社の子会社化後に、AI データセンター事業として必要となる設備内容について技術的な精査を進めた結果、追加設備の整備が必要となる可能性が判明しており、現在、工事内容、実施範囲及び取得価額について精査を行っております。

したがって、現時点においては、第 I 期工事に係る追加工事の内容、実施範囲及び取得価額は確定しておらず、また当該追加工事に係る契約締結又は発注についても意思決定を行っておりません。

なお、土地は将来的な 50MW 規模への拡張を前提として取得しており、第 I 期及び第 II 期の双方で利用されます。

また、本件に係る株式会社ユアテックとの工事請負契約に基づく特別高圧受変電設備工事費用 3,938 百万円は、第 II 期工事全体（将来的な 50MW 規模への拡張に係る設備投資計画）の一部であります。特別高圧受変電設備は、変圧器等の長納期機器の製造及び受変電設備の建設に相当期間を要することから、第 I 期工事と並行して着手する必要があるため、工事進捗に応じて段階的に支払いが発生する予定です。

3. 取締役会決議の内容

当社は、ATT が推進する苫小牧 AI データセンター事業に関し、株式会社ユアテックとの間で 66kV 特別高圧変電所建設工事契約を締結するとともに、当該設備を固定資産として取得することを決議いたしました。

本件工事は、東証プライム市場上場の総合設備工事会社である株式会社ユアテックとの間で契約締結するのであります。

本件設備は、AI データセンター事業の実現に不可欠な基幹インフラであり、当社グループが推進する AI インフラ事業における重要な投資と位置付けております。

4. 契約の内容

(1) 契約名称	苫小牧 DC 特高受変電設備建設工事
(2) 契約締結先	株式会社ユアテック（東証プライム市場上場）
(3) 工事場所	北海道苫小牧市字柏原 32 番 17
(4) 契約金額	3,938,000,000 円（税込）
(5) 工事内容	66kV 特別高圧変電所建設工事
(6) 主な設備構成	① 66kV 特別高圧受電設備 ② 主変圧器 ③ GIS（ガス絶縁開閉装置） ④ 保護制御設備 ⑤ 特別高圧ケーブル ⑥ 接地設備 ⑦ 付帯土木・建築設備 ⑧ その他付帯設備
(7) 工期	着手予定日 2026 年 7 月 1 日 完成予定日 2027 年 12 月 13 日 引渡予定日 2027 年 12 月 13 日

5. 取得資産の内容

(1) 資産の名称	66kV 特別高圧変電所設備
(2) 所在地	北海道苫小牧市字柏原 32 番 17
(3) 取得価額	3,938,000,000 円（税込）（税抜 3,580,000,000 円）
(4) 取得資金	自己資金及び新株予約権の行使により調達する資金等（なお、金融機関からの借入等による調達についても検討を進めております。）
(5) 取得予定日	2027 年 12 月 13 日
(6) 資産の概要	本設備は、AI データセンター事業に必要な大容量電力を受電するための基幹設備であり、66kV 特別高圧受電設備、主変圧器、GIS（ガス絶縁開閉装置）、保護制御設備、特別高圧ケーブルその他付帯設備により構成される特別高圧変電所設備です。 当該設備の整備により、苫小牧 AI データセンターにおける大容量電力供給基盤を構築する予定です。

6. 契約先の概要

(1) 名称	株式会社ユアテック（東証プライム市場上場）
(2) 所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡四丁目 1 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	取締役社長 社長執行役員 小林 郁見
(4) 事業内容	総合設備工事業
(5) 資本金	78 億 390 万円
(6) 設立年月日	1944 年 10 月 10 日
(7) 上場会社と当該会社の関係	資本関係、人的関係及び取引関係はありません

7. 日程

ATT 子会社化及び土地取得公表日	2026 年 5 月 29 日
取締役会決議日	2026 年 6 月 19 日
契約締結日	2026 年 6 月 19 日
着資金支払日	2026 年 6 月 25 日

工事着手予定日	2026年7月1日
工事完成予定日	2027年12月13日
資産取得予定日	2027年12月13日

8. 今後の見通し

本件は、当社グループが推進する苫小牧 AI データセンター事業における基盤整備の一環として実施するものであります。

当社グループは、2026年5月29日付で公表したATTの子会社化及び土地取得に続き、本件によりAIデータセンター運営に必要となる大容量電力供給基盤の整備に着手いたします。

今回取得する66kV特別高圧変電所設備は、AIデータセンター事業の実現に不可欠な基幹インフラであり、本件契約の締結により、当社グループのAIインフラ事業は構想・準備段階から本格的なインフラ整備段階へ移行することとなります。

また、本件は、本日付で公表した「新株式及び新株予約権の発行に係る資金用途の変更に関するお知らせ」に基づき、AIデータセンター開発事業資金への投資を具体的に実行するものであります。

今後は、特別高圧変電所の建設を進めるとともに、データセンター設備の整備、顧客獲得及び事業化に向けた各種準備を進めてまいります。

また、第I期（受電容量10MW）につきましては、国内外のAIクラウド事業者等、複数の事業者との間で賃借及び容量予約に関する協議を進めており、早期の合意に向けて取り組んでおります。

なお、本件による2026年12月期連結業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、本件は、ATTの子会社化及び土地取得並びに新株予約権の資金用途変更に続く事業進捗であり、当社グループのAIインフラ事業における重要なマイルストーンと位置付けております。

当社グループは、再生可能エネルギー事業、蓄電池事業及び電力インフラ事業で培った知見を活用しながら、AIインフラ事業の事業基盤構築を推進し、次世代AIインフラ事業の事業化に向けた取り組みを着実に進めてまいります。今後も事業進捗に応じて適時適切な情報開示を行い、株主及び投資家の皆様への情報提供に努めてまいります。

以 上